

貴自治体名 北名古屋市 代表電話番号 0568-22-1111

懇談日時 10月21日(火) 午後1時～2時

懇談会場 市役所西庁舎 3階第2会議室 ※会場が確定している場合はご記入ください。

## 2014年自治体キャラバン請願・陳情項目についてのアンケート

**[1]1. 税の滞納について** 担当課( 収納課 )電話( )FAX( )

- ① 納整理マニュアルはありますか ( )ある ( ○ )ない
- ② 滞納者の件数(6, 590)件
- ③ 滞納者のうち地方税法第15条(納税緩和措置)の適用について(2013年度)
  - 1) 徴収の猶予について 申請件数( 0 )件 許可件数( 0 )件
  - 2) 換価の猶予の適用件数( 1 )件
  - 3) 滞納処分の停止の適用件数(1, 002)件
- ④ 地方税滞納整理機構に引き継いだ件数(2014年4月1日現在)( 0 )件
- ⑤ 地方税滞納整理機構に引き継ぎをする基準

- 滞納総額50万円以上
- 住民税の割合が滞納総額の40パーセント以上
- 差押可能財産があると思われる滞納者

- ⑥ 少額でも滞りなく分納している納税者も地方税滞納整理機構に引き継ぐか  
( )引き継ぐ ( ○ )引き継がない

**[2]1. 生活保護** 担当課( 社会福祉課 )電話( )FAX( )

- ① 生活保護の申請件数とその保護件数について  
2013年度相談件数 ( 152 )件、申請件数 ( 74 )件、そのうち保護開始件数 ( 68 )件
- ② 2014年4月1日時点の受給世帯数と人数 ( 422 )世帯 ( 569 )人
- ③ 生活保護基準引き下げに伴い連動する制度について、該当するものに○印をし、人数をご記入ください

	制 度	人 数
	介護保険料	人
	高額介護サービス費利用負担上限額	人
	自立支援医療の負担上限	人
	障害福祉サービスの負担上限	人
	医療保険の自己負担限度額	人
	保育料	人
	特定疾患治療研究事業の自己負担限度額	人
	児童入所施設措置の徴収金	人
	小児慢性特定疾患治療研究事業の自己負担限度額	人
	地方税の費課税基準	
	国民健康保険の保険料(税)	
	国民健康保険の一部負担金の減免基準	
	生活福祉資金の貸付対象基準	
	基準最低賃金	
	その他(下欄に具体的にご記入ください)	

※以下は市のみお答えください

- ④ 生活保護担当職員(ケースワーカー)及び1職員(ケースワーカー)当たりの担当受給者について

	生活保護担当職員について			1職員当たりの担当受給者数	
	正規職員数	生保担当の平均在任年数	非正規職員数	世帯数	人数
2013年4月1日現在	7人	2年 2 カ月	3人	72世帯	101人
2014年4月1日現在	7人	1年 7 カ月	3人	70世帯	95人

- ⑤生活保護窓口等への警察官OBの配置について  
 警察官OBの配置ありますか (  )ある (  )ない  
 「ある」場合 配置している人数(  )人 ※今年度の人数をご記入ください  
 配置を開始した年月(  )年(  )月  
 その職員が担当している業務( 暴力団員該当性照会及びDV 関係対応 )  
 「ない」場合 今後の計画は(  )ない (  )ある (  )検討中  
 計画が「ある」場合の配置予定時期と人数(  年  月)(  )人

⑥生活困窮者自立支援のための事業について (平成 27 年度から実施のため未回答)

- 1)実施しているものに○印をつけてください。  
 (  )自立相談支援事業 (  )住宅確保給付金の支給 (  )就労準備支援事業  
 (  )一時生活支援事業 (  )家計相談支援事業 (  )学習支援事業  
 (  )その他(記述:  )  
 2)運営形態について (  )直営 (  )委託 → 委託先(  )  
 3)就労訓練事業(中間的就労)の実施箇所数 (  )カ所

2. 介護保険及び高齢者福祉施策 担当課( 高齢福祉課 )電話(  )FAX(  )

- ①保険料の市町村独自の低所得者への減免措置がありますか。  
 (  )ない (  )ある→実施年月(2006年 3月)2013年度実績(  )件(112,700)円  
 ②利用料の市町村独自の低所得者への減免措置がありますか。  
 (  )ない (  )ある→実施年月(  年  月)2013年度実績(  )件(  )円  
 ③特別養護老人ホームの待機者は、何人ですか。 (  )人( 2014 年 4 月現在)  
 ④介護給付費準備基金について  
 2012年度末の残高(  )千円  
 2013年度末の残高(  )千円 ※決算前の場合は見込み額を記入  
 ⑤地域包括支援センター設置数(  )箇所 直営(  )箇所、委託(  )箇所  
 職員配置人数(  )人 正職員(  )人、非正規職員(  )人  
 ⑥住宅改修の受領委任払い制度を実施していますか。  
 (  )実施している → 実施年月日( 2008年 4 月 1 日 ) 2013年度実績(  )件  
 (  )検討中である (  )実施の予定がない  
 ⑦福祉用具の受領委任払い制度を実施していますか。  
 (  )実施している → 実施年月日( 2008年 4 月 1 日 ) 2013年度実績(  )件  
 (  )検討中である (  )実施の予定がない  
 ⑧高額介護サービス費の受領委任払い制度を実施していますか。  
 (  )実施している → 実施年月日(  年  月  日 ) 2013年度実績(  )件  
 (  )検討中である (  )実施の予定がない  
 ⑨配食サービスについて、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

配食方式	実施の有無	( <input checked="" type="radio"/> )実施している ( <input type="radio"/> )していない ( <input type="radio"/> )検討中である
	実施回数(週○回昼・夕などと記入)	アセスメントを実施し、回数を決定する。
	1日平均利用者数(2013年度)	総延べ食事数(39,582)食÷年間配食日数(365)日 =1日当たり平均(100.44)食
	1食あたりの助成額	200円
	1食あたりの利用者負担額	1食の料金から200円を引いた額(315円～664円)
会食方式	実施の有無	( <input type="radio"/> )実施している ( <input checked="" type="radio"/> )していない ( <input type="radio"/> )検討中である
	実施回数(週○回昼・夕などと記入)	
	月平均利用者数(2013年度)	
	1食あたりの助成額	
	1食あたりの利用者負担額	

⑩独居・高齢者世帯へのゴミ出し援助について、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

実施の有無	( <input type="radio"/> )実施している ( <input checked="" type="radio"/> )していない ( <input type="radio"/> )検討中である
対象事業の名称	
対象者の要件	
1カ月平均利用者実数(2013年度)	

⑪住宅改修の独自の助成制度について、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

助成制度の有無	(○)助成制度がある ( )助成制度はない ( )検討中である		
制度内容	(○)介護保険に上乗せして実施している		
	上乗せの助成額	1件当たり15万円が限度額	
	利用者実数(2013年度)	31人	
	(○)介護保険利用者以外の助成制度がある		
	対象者と、その要件	身障手帳1～3級の下肢、体幹又は視覚障害の者	
助成額	15万円が上限	利用者実数(2013年度)	0人

⑫ひとり暮らし、高齢ふたり世帯などへの安否確認、見守り、買い物などの生活支援の施策を実施していますか。ある場合は、支援内容をご記入ください。

安否確認の施策・・・民生委員の協力による高齢者状況調査及び見守り活動事業の展開、緊急通報システム装置の設置による安否確認サービスの実施。  
買い物等の生活支援・・・軽度生活援助(要介護認定者委が出生活援助が必要な虚弱高齢者へのホームヘルプ)の実施

⑬高齢者や障がい者への、外出支援のための施策について、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

地域巡回バス	実施の有無	( )実施している (○)していない ( )検討中である
	地域巡回バスの名称	
	利用料	高齢者( 歳以上)( )円、障がい者( )円 一般( )円、子ども( 歳～ 歳)( )円
	その他特記事項	
	2013年度の運行実績	
タクシー代助成	実施の有無	(○)実施している ( )していない ( )検討中である
		各対象者の要件及び助成内容
	高齢者	要件 当該年度末までに85歳に到達する高齢者(施設入所者除く) 内容 タクシー券12枚(1枚当たり500円)を支給する。
	障がい者	
	要介護認定者	
2013年度の助成実績	高齢者 2,687千円、	

⑭宅老所・街角サロンなどの高齢者のたまり場事業に助成金を出していますか。(社会福祉協議会の助成は含めないでください)

実施の有無	( )実施している (○)していない ( )検討中である
実施事業の名称	地域高齢者「ふれあいサロン
助成対象	委託事業として実施 年間延373回(H25実績)
助成金について	金額( )円 → ( )年額 ( )月額 ( )1回のみ 1回当たり¥2,500を基準としている
助成箇所数	30か所(委託先23グループ)

⑮介護認定者の障がい者控除の認定について

1)認定書の発行枚数(2013年度実績)は ( 138 )枚

2)認定書は(○)毎年発行している

( )1回発行すれば翌年以降も使える

3)介護認定者に障がい者控除の申請書または認定書を自動的に送付していますか。

( )申請書を送付している → 2013年度( )件

( )認定書を送付している → 2013年度( )件

(○)自動的には送付していない。

4)認定書の発行の条件

( )介護認定者のうち、要支援2以上は基本的に発行している

(○)介護認定者のうち、要介護1以上は基本的に発行している

( )医師の証明書(意見書)の提出の上、判断している

( )介護認定時の認定調査票または主治医の意見書で判断している

( )次のような方法で判断している( )

- ⑯介護保険サービス利用人数について (2,132)人(2014年3月 現在) 延件数4,967件  
 ⑰介護保険支給限度基準額超過者の人数について ( )人( 年 月 現在)\*把握していない  
 ⑱施設入所前健康診断費用の助成について ( )助成している (○)助成していない  
 ⑲紙おむつ、衛生用品の費用助成について (○)助成している ( )助成していない  
 ⑳介護保険における通院時の院内介助について ( )認めている (○)認めていない  
 ㉑入院時の介護保険のヘルパー派遣について ( )認めている (○)認めていない  
 ㉒新しい総合事業について

1)「多様な主体による多様なサービス」について想定されるものをご記入ください

検討中。  
 市民のニーズを把握し検討していきます。

2)実施する場合の市町村(広域連合)の体制についてご記入ください(担当課、担当職員数、想定される委託先・連携先等)

担当課:高齢福祉課  
 担当職員数:未定  
 委託先等:検討中

3. 高齢者医療など 担当課( 国保医療課 )電話( )FAX( )

- ①後期高齢者福祉医療費給付(福祉給付金)制度について、愛知県が補助基準から外した「ひとり暮らしの非課税者」を引き続き対象にしていますか。  
 ( )対象にしている (○)縮小して対象にしている ( )県基準どおりにした  
 ②上記①以外に愛知県の補助基準を上回る内容を実施している場合はその内容をご記入ください。

③2014年8月1日現在の対象者

後期高齢者医療被保険者 ( 7,848 )人  
 後期高齢者福祉医療費給付(福祉給付金)制度対象者 ( 1,290 )人  
 内〔ひとり暮らし非課税者( 129 )人  
 〔その他の県基準を上回る市町村独自対象者( 14 )人

④後期高齢者医療について

保険料滞納者数( 90 )人 短期保険証発行人数( 0 )人  
 差し押さえ(2013年度)件数( 0 )件、金額( 0 )円

4. 子育て支援策担当課( 国保医療課、児童課、家庭支援課、学校教育課 )電話( )FAX( )

※2014年9月1日現在をご記入ください。

- ①子どもの医療費助成制度を、愛知県の基準を上回る内容を実施している場合はその内容をご記入ください。(対象年齢、対象者、入院・入院外の区分、現物給付・償還払の区分、所得制限など)

【国保医療課】

・未就学児→入院時食事代、現物給付、所得制限なし  
 ・小・中学生 → 通院費助成(H22.4月診療分から)、償還払い(2割)、所得制限なし  
 通院費助成(H24.8月診療分から)、償還払い(3割)、非課税又は均等割世帯  
 H26.8月から受給者証の交付により、北名古屋市内に限り現物給付

②就学援助 【学校教育課】

1)保護者への広報はどのようにしていますか。

( )入学説明会 (○)入学式 ( )始業式 (○)ホームページ (○)市広報  
 (○)その他(1月に全保護者に案内。新小学校1年生は就学通知と併せて案内。)

2)就学援助の認定対象基準をご記入ください。

生活保護基準額の( 1.2 )倍

生活保護を受けている方、生活保護が停止又は廃止になった方、児童扶養手当の支給を受けている方、市民税が非課税または減免された方、国民年金の掛金が全額免除された方、国民健康保険税が減免された方  
派遣切り等急激に収入が減少した方(生活保護基準の1.3倍未満)、解雇などにより失業して無職になった方

3)生活保護基準引き下げに対して、どのような対応をされましたか。

( )就学援助認定基準を引き上げた →【2013年度 倍 → 2014年度 倍】

( )何もしていない

(○)その他(下欄にご記入ください)

就学援助認定基準については、特別支援教育就学奨励費の保護基準額を用いており、文部科学省が基準額を据え置いたため、生活保護基準の見直し前を維持している。

4)就学援助の対象となる認定基準額または所得基準額(年額)をご記入ください。

・2人家族(母30歳代、子ども小学生の場合) … (社会保険料等が不明のため算出不可)円

・4人家族(父母は30歳代、子ども小学生と4歳児の場合) … ( // )円

5)申請書の受付先 ( )市町村窓口 ( )学校 (○)市町村窓口と学校のどちらも可

6)民生委員の証明は必要ですか ( )必要である (○)必要ない

7)就学援助受給者数・予算額をご記入ください。

	2013年度	2014年度
受給者数	809人	820人
受給割合	10.9%	11.0%
支給額	58,363,058円	59,157,000円

※受給割合は、小数点第1位までご記入ください。

※2014年度の支給額は見込み額をご記入ください。

8)就学援助家庭の給食費の支払い方法 ( )現物支給 (○)償還払い ( )その他

9)就学援助の項目について

(○)学用品費 ( )体育実技用具費 (○)入学準備金 (○)通学用品費 ( )通学費

(○)修学旅行費 (○)クラブ活動費 (○)生徒会費 (○)PTA会費 (○)給食費

(○)校外活動費(宿泊を伴わないもの) (○)校外活動費(宿泊を伴うもの) (○)医療費

( )日本スポーツ振興センター掛け金 ( )めがね・コンタクトレンズ ( )卒業記念品

( )その他( )

③学校給食について(2014年度)【学校教育課】

1)給食費未納の児童・生徒も含め、全員が学校給食を食べていますか。

(○)食べられている ( )未納者には給食支給を停止している ( )その他

給食費未納の児童・生徒への学校、自治体の対応(例:就学援助をすすめるなど)

児童・生徒への対応はしていませんが、学校及び課窓口において保護者へ就学援助制度の説明をしている。

2)給食費への自治体独自の補助などの施策(例:半額補助、第2子以降無料など)

平成26年度の消費税引き上げ及び平成27年度消費税引き上げ予定、消費者物価の動向に注視することとし、また、平成26年度消費税引き上げに伴う給食の質低下を来たるよう臨時的な措置として、保護者負担は下記1食当たり220円・260円として、3%分を市負担により上乗せした金額で給食を提供している。

3)給食の実施状況

	全校数	自校方式実施数		センター方式実施数		1食当たりの給食費
		直営	委託	直営	委託	
小学校	10校	校	校	10校	校	220円(226.29円)
中学校	6校	校	校	6校	校	260円(267.43円)

④児童虐待の現状と対応並びに早期発見、未然防止対策について(2013年度)【家庭支援課】

1)件数(76)件 対応職員(5)人、うち専門職(5)人

2)専門職の職種について ( )児童福祉司 (2)社会福祉士 ( )臨床心理士 ( )保健師

(2)保育士 (1)その他(教員OB)

3)現状に対する課題

- ・発達遅れや発達障害を疑う児童が多く子育て不安や困難さがある。
- ・離婚や再婚に伴い家庭形態の変化による環境の不安定さがある。
- ・経済的不安定による育児放棄、保護者の身体的・精神的疾患による養育監護の低下など、保護者や各関係機関が早期に相談や支援体制の更なる強化が必要となる。

4) 未然防止、早期発見・対応、啓発活動等に関する実施施策について

- ・北名古屋市要保護児童対策地域協議会で各関係機関との連携強化を図っている。
- ・虐待に繋がりがやすい要因である子どもの発達遅れ、発達障害を疑う児童や保護者の精神不安定等に対する支援体制の構築として、発達障害者支援指導者の育成及び臨床心理士の配置を行っている。
- ・広報やホームページによる相談場所の周知を図っている。

⑤保育について【児童課】

1) 児童福祉法第24条1項の自治体義務を果たすために施策を具体的にご記入ください。

西之保保育園に新たに教室を整備し、乳児枠を確保

2) 条例制定において、国からの基準条例案以上に定めたところをご記入ください。

保育所型事業所内保育事業の乳児室は、1人3.3㎡以上

5. 国民健康保険 担当課( 国保医療課 )電話( )FAX( )

①国保保険料(税)(医療給付費分と後期高齢者支援金分の合計)について

	区分	定義	2012年度	2013年度	2014年度
保険料・税率	所得割	旧但し書き額	× ( 6.3 )%	× ( 6.3 )%	× ( 6.6 )%
	資産割	固定資産税額	× ( 24.0 )%	× ( 24.0 )%	× ( 24.0 )%
	均等割	加入者1人につき	18,900 円	18,900 円	20,600 円
	平等割	1世帯につき	23,000 円	23,000 円	26,600 円
1人当たり調定額(平均保険料)			73,195 円	73,394 円	77,052 円
一般会計からの1人当たり法定外繰入額			21,947 円	29,280 円	31,023 円

※2014年度の「一般会計からの1人当たり法定外繰入額」は、予算額をご記入ください。

②モデルケースの保険料について

下記のモデルケースでの国民健康保険料(2014年度・年額)をお書きください。なお、世帯員で後期高齢者医療制度に移行されたケースでの軽減措置はないものとして計算してください。なお市民税方式の場合は人的控除は扶養控除と配偶者控除のみとし、①②とも妻の所得は0円とします。さらに資産割が有る場合は固定資産税5万円で計算してください。政令軽減がかかった後の金額でおねがいします。

世帯所得		100万円	200万円	300万円
①現役40歳代夫婦と未成年の子ども2人の4人世帯	医療分	72,800 円	140,700 円	218,100 円
	介護分	14,400 円	28,300 円	43,700 円
	後期高齢者支援分	26,900 円	51,200 円	79,000 円
②65歳以上74歳以下で年金生活高齢者夫婦のみ2人世帯	医療分	72,800 円	139,500 円	188,500 円
	後期高齢者支援分	26,700 円	50,400 円	67,400 円
③65歳以上74歳以下で年金生活者・独居世帯	医療分	75,700 円	124,700 円	173,700 円
	後期高齢者支援分	27,600 円	44,600 円	61,600 円

③保険料(税)の市町村独自の軽減・減免制度

1) 市町村独自の低所得者減免を実施している場合は、その要件をご記入ください。

7・5・2割軽減に該当する世帯に対し、軽減後の均等割額・平等割額の20/100を減免

2) 保険料(税)の収入減を理由にした減免を実施している場合は、その要件をご記入ください。

前年中の所得が200万円以下で、今年中の所得が前年中の所得に比べて1/2以下になる世帯

④資格証明書 ※2014年8月1日現在でご記入ください。

- 1) 資格証明書は交付していますか。 (○) 交付していない ( ) 交付している → ( ) 世帯
- 2) 資格証明書を交付している場合、交付に当たっては、面接を実施していますか。  
( ) 必ず面談している ( ) 面談がなくても交付する場合がある ( ) その他
- 3) 資格証明書交付世帯のうち、高校生世代以下の子どものいる世帯数・子ども数  
世帯数( ) 世帯 内、乳幼児( ) 人、小学生( ) 人、中学生( ) 人、高校生世代( ) 人  
上記のうち、6か月以上の短期保険証を交付していない資格証明書未解消世帯数・子ども数  
世帯数( ) 世帯 内、乳幼児( ) 人、小学生( ) 人、中学生( ) 人、高校生世代( ) 人
- 4) 資格証明書の交付除外で配慮している点がありますか。  
( ) 国の基準どおり実施している  
( ) 独自に配慮し、次の場合は交付対象から除外している  
( ) 高校生世代以下の子どものいる世帯  
( ) 障がい者・母子家庭等医療費助成制度の対象世帯  
( ) 病弱者のいる世帯  
( ) 次の場合は、交付対象から除外している。

5) 資格証明書発行世帯で緊急時の短期保険証への切り替えについての基準をご記入ください。

⑤短期保険証 ※2014年8月1日現在でご記入ください。

- 1) 有効期間別(交付時から有効期限が切れるまで)の交付数  
※資格証明書交付世帯の高校生世代以下の短期保険証は除く  
・1か月以内( ) 人 ・2か月( ) 人 ・3か月(1,065) 世帯(H26.7.1 現在)  
・4か月( ) 人 ・5か月( ) 人 ・6か月( ) 人 ・1年( ) 人  
・その他( )
- 2) 短期保険証発行の基準をご記入ください。

新保険証一斉更新時(2年毎)に、前年度以前分の国民健康保険税滞納世帯

- 3) 短期保険証について、有効期限以外に特別な表示をしていますか。  
(○) 通常の保険証と同じ  
( ) 通常の保険証と区分している → 表記している文字・マークなど( )

⑥保険料(税)滞納者への差押えについて(2013年度)

- 1) 差し押さえの基準(特別に内規等の基準は設けておりません。(法定どおり行います) )
- 2) 分納者への対応(滞納者の実情を把握して対応しています) )
- 3) 予告通知書の発行(不明) 件(国保税分として把握していないため)
- 4) 差押え件数 不動産(27) 件 預貯金(127) 件 生命保険(5) 件(内学資保険( ) 件)  
その他(9) 件(給与・売掛金・還付金 )
- 5) 競売などによる現金化 (0) 件 (0) 円

⑦国保加入者だが、保険証・短期保険証・資格証明書が届いていない人数をご記入ください。

※2014年8月1日現在でご記入ください。

- 1) 交付した保険証・短期保険証の留め置き人数 (18) 世帯
- 2) 保険証・短期保険証・資格証明書のいずれも交付していない未交付人数 (308) 世帯(H

26.7.1 現在)

3)その他

⑧国民健康保険法第44条の一部負担減免制度について

- 1)一部負担減免制度を実施していますか。  
実施している 検討中である 実施の予定がない
- 2)ある場合、生活保護基準を目安にした減免基準を設けていますか。  
設けている 検討中である 設けていない
- 3)2013年度の減免件数 ( 0 )件 減免金額 ( )円

⑨高額療養費について

- 自動払いしている 申請書を送付している 通知ハガキのみ送付している

⑩国保運営協議会について

- 1)運営協議会の公開 公開していない 公開している
- 2)運営協議会委員の公募枠 ない ある → ( )人

6. 障害者施策 担当課( 社会福祉課 )電話( )FAX( )

①訪問系各サービスの支給状況について(8月時点)

最多支給時間は8月の1カ月。平均時間は1カ月あたりでご記入ください。

	支給者数(人)	最多支給時間数(時間)	平均支給時間数(時間)
居宅介護	110人	165時間	19.4 時間
重度訪問介護	5人	483. 5時間	236. 9時間
行動援護	8人	90時間	30. 8時間
同行援護	2人	35時間	20時間

②地域生活支援事業の移動支援

支給者数( 182 )人 最多支給時間数( 70 )時間 平均支給時間数( 20.7 )時間

③訪問系サービスの支給基準 あり なし

④計画相談支援の8月利用実績 ( 19 )人

2014年度中の完全実施の見込み あり なし  
 計画相談支援実施上の問題点があればご記入ください

⑤障害支援区分の二次判定変更率について(8月時点) ( 24.3 )%

障害程度区分の二次判定変更率について(2013年度) ( 35 )%

⑥障害福祉サービスと介護保険サービスの適用関係について

- 1)介護保険適用時の障害者本人の「利用意向・状況」聴き取り調査について  
行っている ⇒(具体的に 介護保険適用時に、利用希望等を聞き取ったうえで、支給決定している。)

行っていない

- 2)障害福祉サービス固有のものと認められるものの判断について、「障害者自立支援法に基づく自立支援給付と介護保険制度との適用関係等について」1-(2)-②-Iに例示されたサービスに限定しているか。

限定している

独自で判断している ⇒(具体的に )

- 3)65歳間近の方の障害福祉サービス(居宅系)支給決定期間について

65歳誕生日の前々日までを障害福祉サービス支給期間としている。

65歳到達後数カ月余裕を持たせている。⇒( )月

その他 ⇒(具体的に 誕生日の属する月の月末まで支給決定しているが、65歳到達時点で移行することを原則としている。 )

- 4)要介護認定申請が遅れた場合の対応について

65歳到達時点ですべての障害福祉サービスを打ち切る



(○)要介護認定申請の勧奨を行い、要介護認定結果がでるまで障害福祉サービスを支給する。

( )その他 ⇒(具体的に )

⑦通院時の院内介助について (○)認めている ( )認めていない

⑧入院時のヘルパー派遣について ( )認めている (○)認めていない

7. 健診事業 担当課( 健康課 )電話(0568-23-4000) FAX(0568-23-0501 )

※2014年度の実施状況をご記入ください。

①実施方式・各方式での自己負担金と毎年受診の可否

健診(検診)の種類	実施方式	個別方式		集団方式		受診率	
		自己負担	毎年受診	自己負担	毎年受診		
特定健診	個別・集団	0円	㊦不可	0円	㊦不可	34.3	
がん検診	胃がん	2,500円	㊦不可	3,000円	㊦不可	18.8	
	大腸がん	500円	㊦不可		㊦不可	23.9	
	肺がん	1,500円	㊦不可		㊦不可	21.7	
	子宮がん	2,400円	㊦不可	1,200円	㊦不可	13.0	
	乳がん	超音波	2,400円	㊦不可	1,800円	㊦不可	9.6
		マンモグラフィ	2,400円	㊦不可	1,800円	㊦不可	14.2
前立腺がん	個別・集団	1,800円	㊦不可	1,800円	㊦不可	11.4	
歯周疾患	個別・集団	900円	㊦不可	0円	㊦不可	19.6	

②乳がん検診(マンモグラフィ)時の視触診について

(○)実施している ( )実施していない

③40歳未満の住民を対象にした特定健診に準じた一般健康診査について

(○)実施している → 健診内容 (○)特定健診と同じ ( )特定健診とは異なる

( )実施していない

④歯周疾患検診の対象年齢・回数

(○)節目年齢に限定せず毎年受けられる ( )40・50・60・70歳の年に受けられる

( )その他( )

8. 任意予防接種の助成 担当課( 健康課 )電話(0568-23-4000)FAX( 0568-23-0501 )

①助成を実施または予定している自治体のみご記入ください。

ワクチンの種類	対 象	助成額 (1回)	自己負担 (1回)	助成開始または 開始予定年月
成人用肺炎球菌	65歳以上市民	4,000円	4,000円	平成24年4月
おたふくかぜ		円	円	
ロタウイルス	ロタリクス:生後6週~24週未満	4,800円	9,000円	平成24年10月
	ロタテック:生後6週~32週未満	3,000円	5,600円	
B型肝炎ウイルス		円	円	

②成人用肺炎球菌ワクチン助成について、10月からの国の定期接種化では、年度ごとに5歳刻みで対象となるため、人によっては助成対象となる年度が4年後となりますが、市町村独自助成との調整はどのようにされる予定ですか。

5年間は経過措置として任意予防接種によるワクチン助成を継続します。定期から外れる対象者で希望される方は、任意のワクチン接種を勧奨します。

【3】国または愛知県に対して既に意見書・要望書を提出している項目と提出年月日を教えてください。

※2013年9月以降の提出分をご記入ください。

	意見書・要望書の種類	提出年月日
国	①消費税率引き上げ・増税反対に関する意見書・要望書	年 月 日
	②「最低保障年金制度」の創設を求める意見書・要望書	年 月 日
	③介護保険の改善を求める意見書・要望書	年 月 日
	④子どもの医療費無料制度の創設などを求める意見書・要望書	年 月 日

	⑤医療制度改善を求める意見書・要望書	年 月 日
	⑥介護・福祉労働者の処遇改善を求める意見書・要望書	年 月 日
	⑦生活保護引き下げに反対する意見書・要望書	年 月 日
県	①福祉医療制度存続・拡充に関する意見書・要望書	年 月 日
	②福祉給付金のひとり暮らし非課税者に関する意見書・要望書	年 月 日
	③精神障がい者の医療費助成制度を求める意見書・要望書	年 月 日

**【4】次の資料(各1部)の添付をお願いします。**

- ①アンケート【1】2の①の「滞納整理マニュアル」
- ②介護保険に関する条例・要綱(昨年と同じ場合は結構です)
- ③アンケート【2】1の⑮の「たまり場助成」の条例・要綱(昨年と同じ場合は結構です)
- ④アンケート【2】1の⑯の「障がい者控除の申請」に関する広報の写し・案内文書
- ⑤就学援助に関する父母向けの案内文書(昨年と同じ場合は結構です)
- ⑥国保保険料(税)減免事由別の適用件数・金額一覧(2013年度)
- ⑦国保一部負担金の減免に関する条例・要綱(昨年と同じ場合は結構です)
- ⑧アンケート【3】に関する国または県に提出した意見書・要望書の写し(2013年9月以降の提出分)

☆ご協力ありがとうございました